

令和3年5月25日

各 位

奈良県農業協同組合

トビイロウンカ情報(ウンカ類発生に注意)

J Aならけんより、水稻の病虫害情報についてご案内します。

奈良県病虫害防除所は、昨年大発生し、大きな被害がでたトビイロウンカの飛来を昨年より1ヶ月も早く確認しました。今年も被害の拡大が懸念されます。

防除対策としては、田植期にトビイロウンカに長期効果の高い箱施用剤を使用することが効果的です。

また、すでに田植えをされた方で、これらの箱施用剤を使用されていない方は、こまめに圃場に入り、今後の発生状況を注視しながら手遅れにならないよう早めの本田防除を行ってください。

詳しくはお近くの営農経済センターにお問い合わせください。

<トビイロウンカの生態>

トビイロウンカは梅雨時6月~7月に中国大陸(ベトナム北部からタイや中国を經由)から九州等の西日本に飛来します。被害は飛来した成虫の第2世代、第3世代の幼虫や成虫によって、坪枯れを引き起こします。

今年は梅雨入りが早かったことで飛来もはやかったとみられ、坪枯れは田植えを終えた中山間地域では8月から発生する可能性があるほか、7月上旬まで飛来が続いた場合、これから田植えする平坦部でも被害が出る可能性があるともみられています。